

令和元年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立貴志南小学校
作成日	令和2年3月13日

1 教育目標

21世紀に生きる望ましい人間像をめざし、一人ひとりの子どもの主体性・創造性を養い、心身ともに健康で、豊かな人間性や社会性のある子どもの育成 —たかましい子、やさしい子、考える子—

2 学校自己評価についてのご意見

	開かれた学校	たくましく健やかな体	大きく豊かな心	確かな学力
目標	<ul style="list-style-type: none"> ◎家庭・地域との連携充実 ◎保幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進 ○地域の資源活用の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎体力向上の推進 ◎基本的生活習慣の確立 ○危機回避能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◎いじめの未然防止、早期発見 ◎インクルーシブ教育の普及 ○道徳・人権教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◎基礎・基本の確かな定着 ◎子供主体の授業の推進 ○家庭学習の定着 ○読書活動の推進
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が積極的に学校行事に参加したいと思える興味づくりが必要。 ・地域には協力いただき様々な行事が可能となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会へ出ても知力より体力が大切。 ・生活習慣確立のために学校と家庭が連携し意識して取り組むことが大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭で、子供との会話を増やして情報を手に入れたうえで学校と連携すること。 ・障がいを「個性」ととらえる。 ・心の教育は学校だけでは限界があるため、家庭との連携が重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しく知ることが楽しく思える教育環境が大切。 ・常に疑問をもって学ぶこと。 ・小学校の基礎固めは重要。 ・一方通行から脱却し全員が「楽しい」と思える授業。 ・塾へ行っているだけで勉強したと思っている子供たち。
取組状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校HPは頻繁に更新されており、保護者・地域が情報共有する一つの手段として、今後も継続取り組みを。 ・地域をまきこんでの学校運営は理解も得られ良好な関係ができていますので今後も継続を。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練では、不審者・火災・地震・津波など多様な災害想定で避難ルートも多様に取り組まれている。 ・夏休みのプールでは、単なる開放と泳げるようにするための指導日と複線で指導してくれている。 ・保護者の要望で始まった着衣泳指導を今も継続してくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ教育が学校全体で取り組まれており、子どもたちに染みて、優しく豊かな心が育まれている。 ・一人一人の特性が子どもたちの中で当たり前として受け入れられているのは、絶えず交流し、関わっているからだろう。 ・子ども同士のトラブルがあれば、即座に時間をとって対応できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本読み(教科書)と読書の目的を明確に。 ・学校が、読書に力を入れているのが伝わる。 ・本がいつでも近くにある状況がありがたい。 ・CULTECの導入は子どもたちにとってプラス。 ・出前授業が多種多様で子どもたちは楽しみにしている。
取組の適切さの検証結果に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動を推進して地域の意識を変えていく。 ・今年からスタートした図書ボランティアが成果を出しているため、今後も継続。 ・幼少連携、中学校区内の小学校連携についての取組をさらに。 ・多様な行事や体験活動でよい経験をさせてもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課外の「体力づくり」は協調性、自主性、向上心も育ててもらっている。 ・「わんわん貯金」は自身が生活を見つめ振り返る良い機会となっている。家庭も前向きに取り組みたい。 ・アレルギーに対して丁寧な対応で周囲の子どもたちの偏見もない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペア活動など他学年と関わる機会の効果で、年下を気遣ったり、上級生の責任感などが芽生えていると感じる。 ・保護者アンケートの「いじめ…」で「わからない」が多いのと「親子の話し合い」が少ない現実とつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてや課題を、視覚にも残すことは集中力の持続にもつながる。 ・自学ノートは、自分で目標設定～正答確認までの動きが意欲につながっている。
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・十分開かれた学校であると思うので、今後も取組継続を。 ・SNSやHPでの情報共有を進めたい。 ・地域学習、地域とのふれあう体験活動を今後も継続し、さらに開拓してほしい。 ・図書ボランティア等と学校が情報共有することが連携の第一歩。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「体力づくり」は希望者の活動であるので、学校の全員ができる取り組みはないだろうか。 ・かつての校内マラソン大会のような取組を検討してもらいたい。 ・子どもセンターのスポーツ面の取組をより活性化したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との交流を通してこそ、コミュニケーション能力は向上してくるので、機会を多くとれるよう工夫していく。 ・家庭との連携を強化して小さい変化にも気づけるよう。 ・生命を大切にすると心と思いやりの心を育てる取り組みはこのまま継続を。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習とは、どのように取り組めばよいかを学ぶ機会があればありがたい。 ・読解力を上げる取り組みを強化。 ・本に興味がない子に対する対策。 ・CULTECの使用率の差を縮める方法を模索したい。

3 其他のご意見

- ・先生と子供に壁がなく、距離感もよい感じが本校の良き環境である。
- ・出前授業や様々な体験学習は、家庭での会話を増やす効果も認められる。
- ・子どもたちが何でも話せる雰囲気づくりなど先生方が同じ方向性で取り組まれている。
- ・保護者としても、地域の間人としても、先生方がみな熱心で誠実なため、安心して楽しく行ける学校である。